

受審組織だけでなく、 エンドユーザーや社会に対しても、 透明性、客観性の高いサービスを

私どもJQAにつきまして、日頃格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

近年、企業を見る社会の目が大きく変わり、企業は利益を追求するだけでなく、法令順守や環境問題への配慮といった社会的側面においても責任を果たすことが求められております。また、そうした側面への取組状況を利害関係者や社会に説明していくことも、経営の上での重要な要素となってきております。

世の中のこうした流れを受け、品質、環境、情報セキュリティなどに関する世界的なマネジメントシステム規格への適合性を審査する私どものような第三者審査登録機関の役割も、非常に重要度を増してきたと考えております。1957年の設立以来、一貫して公益法人として中立かつ公正な試験や検査、審査をすることで、わが国の産業経済の健全な発展に寄与して参りましたが、マネジメントシステムの第三者審査登録制度が産業界に浸透した今、私どもJQAは、わが国の最大手の審査登録機関として、より良い審査、より良い制度を目指していく責任を、一層強く自覚する次第でございます。また冒頭に申し上げた社会の変化を、我々もしっかりと受け止め、受審組織だけでなく、そのエンドユーザーに対しても、透明性、客観性の高い審査登録サービスを提供してまいり所存でございます。



財団法人 日本品質保証機構
理事長

上田全宏

さらに、JQAでは従来からの審査登録に加えて、第三者認証を必要とされる企業や組織の多様なニーズにお応えするために、マネジメントシステム部門の新規事業として、食品安全マネジメントシステム(ISO22000)審査登録、統合マネジメントシステム審査、ISO9004の考えを取り入れた組織評価モデルであるIQNet9004評価サービスなどをご提案しております。また、新たな製品認証業務として、医療機器の製品認証および新JISマークの製品認証サービスにも取組んでおりますので、業務開始の折には、ご活用いただきますよう併せてお願い申し上げます。

最後に、今後とも読者の皆様のご支援、ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げますとともに、皆様の一層のご活躍とご健康を心から祈念申し上げます。